

平成 29 年 度

八代市議会文教福祉委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

平成 29 年 5 月 22 日（月曜日）

文教福祉委員会会議録

平成29年5月22日 月曜日

午前 7時31分開議

午後 3時21分閉議（実時間10分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・教育に関する諸問題の調査
- ・保健・福祉に関する諸問題の調査

((管外調査) 学校給食における牛乳の取り扱いについて：球磨酪農農業協同組合、廃校舎施設の利活用について：田舎の体験交流館「さんがうら」)

○本日の会議に出席した者

委員長	友枝和明君
副委員長	庄野末藏君
委員	太田広則君
委員	島田一己君
委員	田方芳信君
委員	橋本幸一君
委員	前垣信三君
委員	幸村香代子君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

教育部長 釜道治君

○記録担当書記 中川紀子君

(午前7時31分 開会)

○委員長（友枝和明君） それでは、定刻となり定足数に達しておりますので、ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

○所管事務調査

- ・教育に関する諸問題の調査
- ・保健・福祉に関する諸問題の調査

((管外調査) 学校給食における牛乳の取り扱いについて：球磨酪農農業協同組合、廃校舎施設の利活用について：田舎の体験交流館「さんがうら」)

○委員長（友枝和明君） 当委員会の所管事務調査は、教育に関する諸問題の調査、保健・福祉に関する諸問題の調査の2件であります。今日は、そのうち、教育に関する諸問題の調査を議題とし、学校給食における牛乳の取り扱いについて及び廃校舎施設の利活用についての、管外調査を行うこととしております。

本日の日程につきましては、お手元に配付しておりますレジュメのとおりでございますが、管外調査の行程につきまして、事務局から説明をいたさせます。

○書記（中川紀子君） はい。おはようございます。

本日の管外調査の日程について御説明させていただきます。

お手元に配付しておりますレジュメのとおり、この後、管外調査のため休憩をとり、球磨酪農農業協同組合及び田舎の体験交流館「さんがうら」にまいります。

最初に相良村の球磨酪農農業協同組合につきましては、9時から10時30分までの1時間30分程度、施設見学及び学校給食における牛乳の取り扱いについて説明を受け、意見交換を行います。

次に、球磨村の田舎の体験交流館「さんがうら」につきましては、13時から14時30分までの1時間30分程度、施設見学及び廃校舎施設の利活用について説明を受け、意見交換を行います。

管外調査を終了し、鏡支所到着予定は16時15分になるかと思われます。その後、文教福祉委員会の再開となります。

以上が、本日の日程でございます。

○委員長（友枝和明君） ただいまの行程につきまして御質問はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（友枝和明君） ないようであれば、管外調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前7時33分 休憩）

（午後3時13分 開議）

○委員長（友枝和明君） それでは、休憩前に引き続き、文教福祉委員会を再開いたします。

ただいま、視察してまいりました学校給食における牛乳の取り扱いについて及び廃校舎施設の活用について、何か質疑、御意見等はございませんか。

○委員（幸村香代子君） はい。お疲れさまでした。

球磨酪農さんのところに行って、牛乳瓶から紙パックへ移行されたことについてですね、いろいろ話をいただいて理解もしましたし、非常に初期投資も含めてですね、やっぴりいただいている、またメーカーさんの姿勢というのもですね、聞くことができました。

やはり、心配するのところは、課題としても出されとりましたけれども、継続的なですね、回収までリサイクルといったところの経費の負担ですね、それがやっぱり重くなってくるということで一つ大分方式というふうなことも御紹介もあったんですが、それについてやはり、本市のみならず、他の市町村また熊本県も含めてですね、やはり何かそのあたりの支援対策というか、そういったものが、検討する必要があるんじゃないかなっていうのをやはり実感したわけですが、そのあたりについて少し執行部の御意見などをお聞きしたいなというふうに思います。

○教育部長（釜道治君） はい。きょう、また1日ありがとうございました。

球磨酪さんのほうも私自身も含めて初めて視察に行きまして勉強になりました。非常に安全・安心、一生懸命取り組んでおられるし、今、委員のお言葉の中にもありましたけれども、紳士な態度で御説明もいただきました。また、安心して帰ってきたなというところです。

その中でも、当面は自社で負担をしていくというお話がございました。今後の課題として、また新たな投資につながったり、具体的には刃ですね——裁断機の刃あたりが100万するというそういった話もございましたけれども、今もですね、非常に安全・安心・おいしい、また心のこもった牛乳、非常に安い単価で購入、納品いただいておりますというところでもございます。後はその、今、パックをリサイクルという形で自社はそれをされておられますけれども、今後それをリサイクルの素材としてしていくならば、資源でございますし、他の会社でも対応でけてことでも廃棄物として処理されておられると、この2つの状況がございましたが、方向としてはですね、是非、環境的な教育のあり方も含めて資源として捉える方向で行くべきかなという思いはございます。

ただ、そのときの負担をいわゆる応益負担も含めて、給食費の一部として考えていくのか、行政的な負担をするのか、引き続きお願いするのかということになると思いますけれども、いずれにしても、1社だけが負担していくという環境はなかなか難しいのかなと、いわゆる給食を提供する側、そしてそれを受益的な部分として利用される生徒・児童・家庭そして、企業にもですね、きょうあの、給食の基準から牛乳瓶は、回収する義務はあるけれども、パックについてはありません。という説明がございました。ひとつのその基準からいくとそうだと思いますけれども、例えば、容器をリサイクルの観点、資源エネルギー関係の法律で行きますと、事業者の負う分の負担も当然社会的な責

任として対応が求めれておりますので、企業の御理解も社会性も含めてお願いしていくとともにですね、どういう形で、例えば、県下の教育長会議でありますとかそういう中で出しいくのか、まだ、私もきょう聞いたばかりで、わからないところがありますが、いずれにしろ、廃棄物という形で処理は避けるべきかなと思ってますので、資源として回収ができるような取り組みをですね、考えさせていただきたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（友枝和明君） はい。わかりました。ほかにございませんか。

○委員（橋本幸一君） 関連でいいですか。
やはり、先ほど言われましたようにその県内6社の業者、そして、それを利用している学校、自治体、その辺というのは、当然、共同スペースをとって八代だけが負担するとか、ほかの学校は廃棄物とかそういう流れじゃなくて、やはり、県内ひとつの共同歩調の中で連携をとってこの問題について、リサイクルというひとつの共通目的を持ってやっていくというそういう方向と、考えとられるということでもいいんですか。

○教育部長（釜道治君） はい。今、牛乳については、熊本県給食会というところを介して、今、6社に納品をお願いしておるところでございますから、そういうルートでもやはり1回テーマとして考えなければいけないのかなと……。

それと、さっき言いましたように、教育行政の中でのということで、方向性なかなか見えないところがございますけれども、先ほどから申し上げておりますように、ごみになすのか資源になすのかでは、発想的に全然違ってまいりますので、できましたら、単独では私どもだけではできる問題でもございませんから、そういう声をかけるということについては、広くですね、他の御利用の市ともですね、こういう課題があるなということで、やっぱり共通テーマに挙げた中でですね、論議ができればなということです。ですから、今、委員

の御質問に対しては八代市だけではなくてですね、機会を見つけて、すぐすぐということでは当面ございませんので、そういうあり方は、きょうの視察の研修の学びとしてですね、思いを持ったというところでございます。

○委員長（友枝和明君） ようございますか。ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（友枝和明君） 以上で、学校給食における牛乳の取り扱いについて及び廃校舎施設の活用についての管外調査を終了します。

そのほか、当委員会の所管事務調査について、何かございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（友枝和明君） 以上で、本日の委員会の日程は、全部終了いたしました。これをもって、文教福祉委員会を散会いたします。

（午後3時21分 閉会）。

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成29年5月22日

文教福祉委員会
委員長